

令和 6 年度第 2 回町民討議会の意見への回答

(令和 7 年 3 月現在)

担当課：秘書広聴課

秘書広聴課では令和 6 年度に「広報あみ原稿作成マニュアル」を改訂し、原稿を作成する段階から分かりやすく、魅力的な広報紙になるよう取り組みを進めているところです。

一方で、回覧板で配布されるチラシ等の文書が増加傾向にあり、削減を求める声もあるため、必要な情報を広報紙に集約していきたいと考えております。

このことから、一時的に広報紙に掲載する情報の増加が見込まれるため、掲載情報の整理・見直しを図っていく必要があり、広報紙に新たなコーナーをすぐに設けることは難しい状況がございます。

令和 7 年度は、より「読みたくなる広報紙」を目指し、今回いただいた意見を参考に、掲載情報の整理・見直しを図りつつ、引き続き改善に取り組んでまいります。

なお、いただきました意見への個別の回答を以下に記します。

1.読ませるために表紙に目次を入れる

目次を表紙に掲載することで、読者がどのような内容があるのか一目でわかり、興味を引きやすくなる点は非常に有効だと考えます。しかし、表紙のデザインやレイアウトにも影響を与えるため、視覚的にスッキリとした印象を保ちつつ目次をどのように組み込むかを考える必要があります。表紙に「特集」や「注目記事」との関連性を持たせて目次ページへ誘導する方法なども含め、検討してまいります。

2.項目ごとに分けて対象者がわかるようにする

対象者別に分けることで、読者が自分に関連する情報を素早く見つけやすくなり、より有用な広報紙になると考えます。今後は対象者という視点も考慮しながらページ配置をしてまいります。

3.紙と電子の見せ方の工夫をする

紙と電子版それぞれにメリットがあり、両方を効果的に活用することが重要だと考えます。紙媒体では基本的な情報や重要な内容をできるだけ文字数を抑えて読みやすく掲載し、電子版ではリンクを活用してさらに情報を深掘りできるような工夫をしてまいります。

4.世代の情報を均等にする

各世代に均等に情報を提供することは、広報紙がより多くの読者にとって有益なものになるための重要な視点だと考えます。世代ごとの関心やニーズを的確に把握し、それぞれに特化した情報も織り交ぜながら伝えてまいります。

5.子どもが読みたくなるコーナーをつくる

子どもが興味を持って読むことができるコーナーを作ること、広報紙がより多くの世代に親しまれるものになると考えます。今後の紙面構成を検討するうえで参考とさせていただきます。

6.学校紹介をする

学校での活動を広報紙に掲載することは、地域の教育機関や子どもたちの活動について知ってもらう良い機会になると考えます。学校行事や生徒の活躍、地域との連携など、これまでも掲載してまいりましたが、さらに掲載の機会を増やすよう検討してまいります。

7.料理コーナーをつくる

料理コーナーを設けることで、地域の食文化を紹介したり、家庭で試せるレシピを提供することができ、読者の皆さんにとって有益で楽しめる内容になると考えます。今後の紙面構成を検討するうえで参考とさせていただきます。

8.興味がわくような新しいお店や抽選コーナーをつくる

新しいお店の紹介や抽選コーナーを設けることで、読者の関心を引き、広報紙をより楽しんでもいただける内容になると考えます。今後の紙面構成を検討するうえで参考とさせていただきます。

9.得をする広報紙をつくる（住民参加型コーナー、プレゼントなど、いつも手元においてもらえる企画）

住民参加型コーナーやプレゼント企画は、参加することで読者の関心をさらに高めることが期待できます。また、読者が得をするような企画を盛り込むことで、広報紙を手元に置いていただける機会が増えるのではないかと考えます。今後の紙面構成を検討するうえで参考とさせていただきます。

10.町長さんへの質問コーナーをつくる

町長への質問コーナーは、住民の皆さんと町長との距離を縮め、町政に興味を持っていただけるきっかけにつながる非常に良い企画であると考えます。今後の紙面構成を検討するうえで参考とさせていただきます。

11.読者参加型のコーナーをつくる

読者参加型のコーナーを設けることで、地域の皆さんが広報紙にもっと関与し、楽しんでいただける内容になると考えます。今回ご提案いただいたご意見も参考にしながら、具体的な企画について検討してまいります。

12.SNS 発信をする

SNS を活用することで、広報紙に掲載した内容をより多くの人々に迅速に届けることができ、特に若い世代や忙しい方々に対して情報の浸透力を高めることができると考えます。現在、阿見町公式 LINE、X にて情報発信を行っております。今後は登録件数を増やす取り組みを行うとともに、阿見町 DX 推進本部と連携し、他のアプリ等の活用も検討してまいります。